

第5号様式

会議の開催結果について

- 1 会議名 令和元年度第3回上尾市地域公共交通活性化協議会
- 2 会議日時 令和2年2月12日(水)
午前10時00分から
- 3 開催場所 プラザ22 第2会議室
- 4 会議の議題
 - (1) 上尾市地域公共交通網形成計画および
上尾市地域公共交通再編実施計画の評価について
 - (2) 令和3年度市内循環バスぐるっとくん再編実施方針(案)について
 - (3) その他
- 5 公開・非公開 公開
の別
- 6 非公開の理由
- 7 傍聴者数 6人
- 8 問い合わせ先 市民生活部交通防犯課
(担当課) 電話：048-775-5138(直通)

会 議 録

会議の名称	令和元年度第3回上尾市地域公共交通活性化協議会		
開催日時	令和2年2月12日(水)	開 会	午前・午後 10時00分
		閉 会	午前・午後 11時30分
開催場所	プラザ22 第2会議室		
議長(会長等)の氏名	山本 由起子		
出席者	委員氏名	(出席人数: 16人) ※会長を含めず 長島 徹、山科 和仁、栗原 夏樹(代理: 松尾様)、野口 佳一、鈴木 貴大、山口 正史、鶴岡 洋(代理: 金川様)、藤田 貢、鹿島 秀昭(代理: 栗林様)、吉住 浩史(代理: 鈴木様)、久保田 尚、吉澤 章裕、刀根 正克、松本 みどり、小島 義則(代理: 塚田様)、向井 一哲	
	説明者 その他		
	事務局	(出席人数: 3人) 宇田川市民生活部次長、川村交通防犯課長、佐藤交通防犯課主任	
次第及び公開・一部公開・非公開の区分	(1) 上尾市地域公共交通網形成計画および上尾市地域公共交通再編実施計画の評価について (2) 令和3年度市内循環バスぐるっとくん再編実施方針(案)について (3) その他		
配布資料	令和元年度第3回上尾市地域公共交通活性化協議会次第: 公開 議事1 上尾市地域公共交通網形成計画および上尾市地域公共交通再編実施計画の評価について: 公開 議事2 令和3年度市内循環バスぐるっとくん再編実施方針(案)について: 公開 資料1 市内循環バス「ぐるっとくん」の再編に向けた今後のスケジュール: 公開 資料2 上尾市内の交通不便地域: 公開		
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録		
会議録署名の指定	会長及び会長が指名した委員1名が署名するものとする。		

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	《開会》
	《変更委員の紹介》
長島委員	《長島委員より挨拶をいただく》
事務局	《会議成立の報告》
	《山本会長に議長を依頼》
会長	《非公開事項の確認》
事務局	《非公開事項はない旨回答》
会長	《傍聴希望者の確認》
事務局	《傍聴希望者は6名と回答》
会長	《傍聴希望者に入室してもらおう》
	《議事録署名人を刀根委員に依頼》
刀根委員	《刀根委員に承認をいただく》
	議事1
会長	上尾市地域公共交通網形成計画および上尾市地域公共交通再編実施計画の評価について
事務局	《資料に基づき説明》
会長	《意見・質問を求める》
久保田委員	市内循環バスの傾向として、再編前より利用者数が増加傾向にあり、今年度も好調であることから、再編の効果が出ているものと思われます。一方で、数値目標4の満足度について上がっておらず、残念な点であります。満足度が変わっていない理由について、事務局として考えられるものはあるのでは

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	<p>ようか。</p> <p>平成 28 年 2 月の再編で、長大路線の短縮、ぐるっとくん間や路線バスとの重複の解消を行っていますが、以前から要望の多い運行本数の増加については対応できていません。そのあたりが、満足度が改善されていない要因かと思われます。</p>
久保田委員	<p>満足度は上がっていないが、利用は伸びているということで、多少不満があるが利用しているとも考えられ、今後に期待できると受け止めてよいと思います。</p>
鈴木委員	<p>満足度が変わっていないとのことですが、不満足に関する傾向は変化ありませんでしょうか。</p>
事務局	<p>前回の調査結果が手元にないため、確認させていただきたいと思います。</p>
松本委員	<p>桶川市のコミュニティバスとの乗継割引の利用実績で、上尾市から桶川市への利用と逆の利用で差が見られますが、これはどのような理由でしょうか。</p>
事務局	<p>差が見られる理由は把握しないため、要因について確認させていただきたいと思います。</p>
鈴木委員	<p>補足となりますが、この乗継割引では乗継ポイントが桶川駅となっており、上尾市から桶川駅に利用する際は、バス同士の乗継をしますが、逆の場合は鉄道を使えるため、桶川市から上尾市への乗継が少ないと考えられます。</p>
向井委員	<p>鈴木委員のご見解と同じです。</p>
会長	<p>《意見・質問を求める》</p> <p>《意見・質問なし》</p> <p>議事 2 令和 3 年度市内循環バスぐるっとくん再編実施方針（案）について</p>
事務局	<p>《資料に基づき説明》</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
会長	《意見・質問を求める》
藤田委員	資料の5ページの公共交通の定義ですが、この記載ではタクシーが含まれないと思われます。タクシーは公共交通の一部と考えられるので、表現の工夫をしていただければと思います。
事務局	承知しました。
久保田委員	<p>市内循環バスの再編と地域公共交通網形成計画の関連になりますが、計画の目標値は再編と合わせて見直しを行うのでしょうか。</p> <p>それから、この点は事実の確認となりますが、無料対象者の増加が収支の悪化につながっているのか、費用の悪化が効いているのか、また、民間路線バスとの重複については、重複があることで民間路線バスの利用者数は減少しているのか。このあたりの事実確認が必要だと思います。</p> <p>また、再編を行った後の改善の目安として、2年連続で利用者数が前年度を下回った場合、見直しを行うとなっておりますが、最初から利用が少ない場合はどうするのか、さいたま市などでは達成すべき収支率を最初に決めており、路線ごとに明確な基準を決めています。2年連続という表現は曖昧さが残っており、このあたりも検討が必要だと思います。</p>
事務局	<p>計画の目標値については、再編内容に合わせて見直すことを考えています。無料対象者の影響については、数字上であるが、再編後、無料対象者を拡大したことで、無料対象者の利用が増えています。収支率については、平成28年度より悪化していることから、現状の課題として収支率の悪化を記載しています。費用の悪化については、運行経費自体が年々上がっており、担当課と事業者との見積もりのやりとりで、確認しています。民間路線バスの利用者数の減少については、前回の協議会での事業者の中で、民間路線との重複の解消が意見として挙げられており、重複により奪い合いになる懸念があることから、重複の解消を考えています。最後に見直しの考え方については、先生のご指摘を踏まえ、引き続き検討していきたいと思ひます。</p>
久保田委員	<p>運行経費の上昇を踏まえ、民間路線と重複する部分を解消する場合、もうかっている路線を撤退する可能性もある。結果的にいままでの収支率の目標値を下方修正する必要があると思われる。これもあるので、無料対象者の拡大が収支率にどう寄与しているか確認していただき、次の再編につながるよう、理論的に整理する必要があると思ひます。</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
鈴木委員	<p>収支率に関連するが、1日あたり運行経費は平成28年度から令和元年度で11.3%増えており、1日あたり収入は8.0%しか増えていません。無料対象者を含めた乗車人数は9.5%の増であり、経費は11%、人数は10%弱となっています。無料対象者の割合は平成28年度では6%、平成30年度では11%近くと倍になっています。このため、久保田委員のご指摘は両方の面があり、まず支出の増加に利用が追いついていない。それから、無料対象者の利用も増えているため、収入の低下に拍車をかけています。</p> <p>では、今後費用がどうなるかについては、人件費が上がるのはこれからです。働き方改革で労働時間が短縮され、運転手の人数を増やす必要があります。平成28年度から平成30年度までの経費の増加率よりも更に上昇していくことが予想されます。</p> <p>そもそもの話になりますが、ぐるっとくんは平成28年2月に再編、ビッグマイナーチェンジと言ってよいと思いますが、を行っています。その後、一時期利用は落ち込んでいますが、利用は増えているのが現状です。増えている新路線を再編する必要はあるのでしょうか。巻末のスケジュールでは、再編後から5年半後に見直しとなっていますが、5年ちょっとで人数が増えている路線を完全に再編する必要があるのか、また、増えている路線を再編して、利用が落ち込んだ場合、収支率が20%を切るなど落ち込んだ場合、ぐるっとくんそもそもの存在意義が危ぶまれるのではないのでしょうか。このあたりを議論する必要があると思われます。</p> <p>上尾市の交通不便地域はバス停から300mとされていますが、300mでよいのでしょうか。市内一律で300mとしていますが、駅周辺と郊外部では交通事情が異なると思われますし、弊社の所在地である行田市、北埼玉では、300mという距離は非常に近いと感じます。500mだと歩くのは難しい、となります。この地域は300m、この地域は500mで我慢してもらい、などの検証が必要と思われる。</p> <p>バス運転手が減っているのはどの事業者でも同じであり、大型二種免許保有者もものすごい勢いで減っています。なお、資料の1ページ目の数値は全年代の免許保有者数ですが、65歳以上を除くと、平成21年からの減少率は23%になります。お金を出すから走ってね、というわけにはいなくなると、そうになると300mという基準ではいくら走ってもカバーできないという状況になります。</p> <p>再編がそもそも必要か、よく議論したほうがよいと思われる。</p>
会長	<p>今、鈴木委員からご発言がありましたが、他の交通事業者様についても、同じような状況でしょうか。</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
山科委員	<p>前回は発言しましたが、弊社は定年を60歳から65歳に伸ばし、67歳に伸ばす予定であります。また、高卒はこれまで採用していませんでしたが、現在は事務職として採用し、数年後に運転手になるというプログラムも組んでいます。それでも、埼玉だけでなく、東京の方でも普通の路線が走れない、減便が起きています。採用は毎月行っていますが、それ以上にやめている状況です。人件費も上げており、手当をつける、労働時間を削減するなど、対応はしているが、難しい状況です。</p> <p>市内循環バスの再編についてですが、民間の路線バスは駅へ向かっているが、市内循環バスは、市民がどこに行きたいかを把握し、そこへの移動を支える必要があると思われます。市民の移動ニーズをよく把握しての検討が必要と思われます。</p>
松尾代理委員	<p>弊社も同様の状況であり、全国どこに行っても運転手不足は同じような状況です。一部路線では減便せざるを得ない状況もあります。弊社も毎月何度も説明会を実施していますが、なかなか集まらない、入ってもすぐやめるなどの状況となっています。</p>
野口委員	<p>当社も同じような状況で、運転手の高齢化も大きな問題になっています。二種免許の取得費用を会社で負担しても、すぐに辞めてしまうので、その費用も回収できない、なかなか人が集まらない状況となっています。現在も運転手不足は深刻ですが、今後はもっと深刻化すると考えています。</p>
鈴木委員	<p>市民アンケート調査の要望で、免許返納者への対応が挙げられていますが、再編の実施内容を見る限り、この措置が無いように思われます。これについては、対応はしないということでしょうか。</p>
事務局	<p>免許返納者への支援については、別で検討しており、今回の再編では含まない予定です。</p>
鈴木委員	<p>免許返納者に対して、優遇しない、という自治体もあります。というのも、免許返納者には支援をして、もともと免許を持っていない方には支援をしないのは不公平ではないか、という議論があるためです。免許返納者への支援については、慎重に検討いただきたいと思います。</p>
会長	<p>他にございますでしょうか。本日は他の自治体の方もいらっしゃるのですが、それぞれの自治体のコミュニティバスの運行状況や収支状況等について、状況を教えていただけますでしょうか。</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
塚田代理委員	<p>さいたま市では小型バスによるコミュニティバス、ワゴンタイプによる乗合タクシーを運行しています。市内で10区あり、コミュニティバスや乗合タクシーを運行しているのはそのうち6区となります。運賃体系は、コミュニティバスは距離制で180円から270円、乗合タクシーは地区によって異なるが、一律200円と一律300円となっています。割引制度については2種類あり、1つは障がい者および介護者は条件があるが半額、もう1つは小学生を半額とするものがあります。収支率は、コミュニティバスは6路線あり、概ね20～40%となっており、乗合タクシーは20%を切る地域から60%を超える地域もある。</p>
向井委員	<p>桶川市では市内循環バスベにばなGOを運行している。所管課でないため詳細は把握していないが、現在、運賃を100円から200円に改定予定で、現在、地域公共交通会議で議論を行っている。予定では今年の8月から改定予定で、中学生以上を200円、乳幼児は無料となる。</p>
会長	<p>《意見・質問を求める》</p> <p>《意見・質問なし》</p> <p>議事3 その他</p> <p>《報告事項等あるか確認》</p> <p>《特になし》</p> <p>《久保田委員に総評を依頼》</p>
久保田委員	<p>本日の会議では本質的な議論ができたと思います。次回の協議会で再編実施方針を決定するスケジュールになっており、次回はかなり重要な議論になります。各自治体で申し上げているが、どういう目標を設定するかが一番大事であり、特に数値としてなにを設定するか、収支率か、トータルとしての税金の支出か、満足度か、そこを決めるのが一番大事になります。現在の再編実施方針（案）は、現在の路線をかなりコンパクトにして、必要な部分には1時間に1本を確保する形になると思いますが、バツサリ切られる地域はどうなるのか、きめ細かい検討が必要であり、民間路線バスだけとなる地域は</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
会長 事務局	<p>どうなるか、それらを踏まえて、公共交通がどのような姿になるか、どのような姿にしたいか、これを次回、事務局から提示いただき、議論できるとよいと思います。</p> <p>《議事終了》</p> <p>《閉会》</p>